

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月1日

上場会社名 株式会社しまむら

上場取引所 東

コード番号 8227 URL <http://www.shimamura.gr.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野中 正人

問合せ先責任者 (役職名) 企画室長

(氏名) 小坂橋 哲也

TEL 048-652-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年10月4日

配当支払開始予定日

平成24年10月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	241,455	7.8	21,566	11.2	22,577	13.2	13,037	21.7
24年2月期第2四半期	224,012	3.0	19,390	1.9	19,947	1.9	10,712	△4.8

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 12,959百万円 (20.6%) 24年2月期第2四半期 10,746百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	354.52	—
24年2月期第2四半期	291.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第2四半期	290,279	235,891	81.3	6,414.69
24年2月期	277,647	225,611	81.3	6,134.55

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 235,891百万円 24年2月期 225,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	64.00	—	72.00	136.00
25年2月期	—	68.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	68.00	136.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	490,000	5.1	46,400	5.6	47,700	5.4	27,200	7.9	739.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	36,913,299 株	24年2月期	36,913,299 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	139,735 株	24年2月期	136,095 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	36,774,856 株	24年2月期2Q	36,780,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想数値に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、東日本震災からの復興に向けた公共投資の本格的な実施や、自動車、金属加工機械の輸出増加等を背景に、製造・非製造業ともに企業業績予測を増収、増益と見通すなど、緩やかながらも着実に業績を回復させつつあります。

一方で欧州経済の不振や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化は、輸出産業を中心に企業業績を下振れさせるリスクを孕んでおり、また原発政策の見直しによる電力供給への懸念、電気料金値上げによるエネルギーコストの上昇など、国内経済の先行きには益々不透明感が深くなりつつあります。

#### 1) 消費環境の概要

① 1世帯当たりの消費支出が6ヶ月連続で前年を上回り、有効求人倍率も一貫して上昇傾向にあるなど、消費を取り巻く環境には明るい材料が多い一方、5月からは現金給与総額が前年比マイナスに転じ、勤労者世帯の可処分所得も7月は減少となるなど、前年秋から回復基調にあった消費マインドへの悪影響が懸念される状況であります。

② 衣料品の消費に影響を及ぼす天候は、3月、4月は低温と週末毎の天候不順に影響を受けたものの、ゴールデンウィークと梅雨明け後の気温上昇が実需最盛期の初夏、夏物販売の追い風となり、衣料品業界にとってはまずまずの天候となりました。

#### 2) 当社グループの状況

このような消費環境のもと、当社グループは持続的な成長を目指して“全体能力の底上げ”を当連結会計年度の統一テーマとし、個々の能力から組織の能力まで、全体の底上げを目指して、業績の向上に努めてまいりました。

#### 3) 主力のしまむら事業

① 商品のコンセプトを明確にし、「ファッション性」「高品質」「低価格」を併せ持つプライベート・ブランドは、機能・素材にこだわった“ファイバードライ”を柱とし、吸水速乾性に吸放湿性を加えたWドライ、UV機能、接触冷感機能を付加した商品の拡大と生産管理の強化による品質向上に努めた結果、当第2四半期連結累計期間のプライベート・ブランドの販売額は前年同期比で6.6%増加いたしました。

② また当第2四半期連結累計期間も積極的に店舗を新設し、24店舗を新たに開設しました。

この内18店舗が東京・神奈川・大阪などの都市部への出店となり、都市部への店舗開発に引き続き力を入れてまいりました。

さらに既存4店舗の建替えと、7店舗での大規模な改装及び2店舗の閉店を実施した結果、しまむら事業での店舗数は1,259店舗となり、売上高は前年同期比6.8%増の1,977億13百万円となりました。

#### 4) アベイル事業

若者向けの感度の高いファッションを扱うアベイル事業は、コーディネートが容易になるようにサイズ・カラーの関連性をもった商品のグループ化を推進し、プライベート・ブランド化を更に強化して客層の拡大と買上点数の増加に努めてまいりました。当第2四半期連結累計期間は5店舗を新規に開設した結果、店舗数は265店舗となり、売上高は前年同期比12.6%増の264億88百万円となりました。

#### 5) パースデイ事業

ベビー・トドラー用品を扱うパースデイ事業は、引続きブランド化とオリジナル商品の推進及びファッション雑誌やモバイル、インターネット等を活用した広告宣伝に注力し、集客力の向上に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間は3店舗を新規に開設し1店舗を閉店した結果、店舗数は129店舗となり、売上高は前年同期比16.6%増の108億63百万円となりました。

#### 6) シャンブル事業

女性のファッション雑貨を扱うシャンブル事業は、引続きブランド化とオリジナル商品の推進及びモバイル等を活用した広告宣伝に注力し、集客力の向上に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間は、2店舗を新規に開設した結果、店舗数は72店舗となり、売上高は前年同期比4.3%増の46億82百万円となりました。

7) ディバロ事業

10～20代の女性を主たる顧客層としたカジュアル・シューズを扱う専門店のディバロ事業は、当第2四半期連結累計期間の出店は無く、既存13店舗の営業で、売上高は前年同期比17.0%増の2億83百万円となりました。

8) 以上の結果、当第2四半期連結累計期間の日本国内の業績は、売上高2,400億31百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益216億円（同11.3%増）、経常利益226億23百万円（同13.3%増）、四半期純利益は130億50百万円（同21.6%増）となりました。

9) 海外事業

台湾で事業展開する思夢樂は、プライベート・ブランドの拡大及び販促物と売場の連動による業績向上に努めてまいりました。当第2四半期連結累計期間は2店舗を新規に開設し2店舗を閉店した結果、店舗数は35店舗で、売上高は前年同期比2.1%増（NT\$ベース）の5億35百万NT\$（14億23百万円）となりました。

中国で事業展開する飾夢樂（非連結子会社）は、上海に1号店の長風景畔広場店を出店し、引き続き年内に数店舗の出店を予定しております。

10) 以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,414億55百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益215億66百万円（同11.2%増）、経常利益225億77百万円（同13.2%増）、四半期純利益は130億37百万円（同21.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、126億31百万円増加し、2,902億79百万円となりました。これは主として、有価証券の増加169億98百万円、流動資産のその他の増加25億17百万円、売掛金の増加8億51百万円、現金及び預金の減少76億79百万円等によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ、23億52百万円増加し、543億87百万円となりました。これは主として買掛金の増加61億73百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少20億円、長期借入金の減少20億円等によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ、102億79百万円増加し、2,358億91百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加103億89百万円等によるものです。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動及び新規出店等による投資活動、ならびに財務活動を行った結果、前年同四半期連結累計期間末に比べ82億45百万円減少し315億32百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、13億5百万円増加し、189億67百万円となりました。これは法人税等の支払額102億94百万円等に対し、税金等調整前四半期純利益224億60百万円、仕入債務の増加額61億74百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、85億25百万円減少し、319億61百万円となりました。これは有価証券の償還による収入380億円等に対し、有価証券の取得による支出670億円、有形固定資産の取得による支出37億69百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、42億26百万円増加し、66億82百万円となりました。これは長期借入金の返済による支出40億円、配当金の支払額26億50百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月5日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,211	24,532
売掛金	1,709	2,561
有価証券	54,001	71,000
商品	30,608	30,908
その他	7,837	10,354
流動資産合計	126,368	139,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,393	64,790
土地	33,987	34,443
その他(純額)	4,001	3,965
有形固定資産合計	102,381	103,199
無形固定資産		
のれん	672	523
その他	1,116	1,109
無形固定資産合計	1,789	1,632
投資その他の資産		
差入保証金	35,650	34,927
その他	11,670	11,343
貸倒引当金	△212	△180
投資その他の資産合計	47,107	46,090
固定資産合計	151,279	150,922
資産合計	277,647	290,279
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,263	21,436
1年内返済予定の長期借入金	4,000	2,000
未払法人税等	10,576	9,704
賞与引当金	1,739	1,981
役員賞与引当金	73	34
その他	8,752	9,492
流動負債合計	40,405	44,650
固定負債		
長期借入金	7,800	5,800
退職給付引当金	1,220	1,245
定時社員退職功労引当金	673	708
役員退職慰労引当金	506	502
資産除去債務	1,313	1,359
その他	116	122
固定負債合計	11,630	9,737
負債合計	52,035	54,387

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,086	17,086
資本剰余金	18,637	18,637
利益剰余金	190,796	201,186
自己株式	△1,104	△1,136
株主資本合計	225,416	235,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	96
為替換算調整勘定	14	20
その他の包括利益累計額合計	195	117
純資産合計	225,611	235,891
負債純資産合計	277,647	290,279



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
売上高	224,012	241,455
売上原価	152,027	163,022
売上総利益	71,984	78,432
営業収入	470	503
営業総利益	72,455	78,936
販売費及び一般管理費	53,064	57,369
営業利益	19,390	21,566
営業外収益		
受取利息	283	312
受取配当金	72	94
投資有価証券売却益	15	31
配送センター収入	275	414
雑収入	148	238
営業外収益合計	795	1,091
営業外費用		
支払利息	67	33
貸倒引当金繰入額	5	—
為替差損	142	33
雑損失	23	12
営業外費用合計	238	79
経常利益	19,947	22,577
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
退職給付引当金戻入額	583	—
受取補償金	—	33
収用補償金	68	69
特別利益合計	653	102
特別損失		
固定資産除売却損	22	88
減損損失	23	7
災害による損失	906	11
災害義援金等	489	—
災害損失引当金繰入額	136	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	320	—
賃貸借契約解約損	—	107
その他	269	4
特別損失合計	2,168	219
税金等調整前四半期純利益	18,432	22,460
法人税等	7,719	9,423
少数株主損益調整前四半期純利益	10,712	13,037
四半期純利益	10,712	13,037

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,712	13,037
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△0	△83
為替換算調整勘定	34	5
その他の包括利益合計	33	△78
四半期包括利益	10,746	12,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,746	12,959
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	18,432	22,460
減価償却費	2,410	2,443
減損損失	23	7
のれん償却額	149	149
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△32
賞与引当金の増減額(△は減少)	194	242
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	△38
災害損失引当金の増減額(△は減少)	136	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△569	24
定時社員退職功労引当金の増減額(△は減少)	35	35
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19	△3
受取利息及び受取配当金	△356	△407
支払利息	67	33
為替差損益(△は益)	136	28
固定資産除売却損益(△は益)	△6	24
災害損失	254	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	320	—
売上債権の増減額(△は増加)	△664	△851
たな卸資産の増減額(△は増加)	△321	△303
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△791	△2,216
仕入債務の増減額(△は減少)	4,864	6,174
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,440	934
その他	584	435
小計	26,333	29,143
利息及び配当金の受取額	126	168
利息の支払額	△68	△49
法人税等の支払額	△8,729	△10,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,661	18,967

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	—	5,000
有価証券の取得による支出	△33,000	△67,000
有価証券の償還による収入	24	38,000
有形固定資産の取得による支出	△3,361	△3,769
無形固定資産の取得による支出	△13	△18
差入保証金の差入による支出	△679	△1,256
差入保証金の回収による収入	1,930	1,979
その他	△387	104
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△40,486</b>	<b>△31,961</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△4,000
自己株式の取得による支出	△10	△32
配当金の支払額	△2,446	△2,650
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,456</b>	<b>△6,682</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△20</b>	<b>△3</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,302	△19,679
現金及び現金同等物の期首残高	65,080	51,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,777	31,532

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。